

旧敦賀市港線（廃線敷）利活用計画（案）に関する
意見募集（パブリックコメント）の実施結果

- 1 募集期間 令和8年3月18日（水）～4月7日（火）
- 2 意見提出件数 12件（電子申請10件、郵送1件、ファクシミリ1件）
- 3 意見の内容と市の対応・考え方

	意見の要旨	市の対応・考え方
1	<p>公園の維持管理・運営体制について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な維持管理、運営体制の確立と地域連携について ・既存の公園を削減・廃止する等、持続可能な維持管理をすべき 	<p>持続可能な維持管理、運営体制については、次の「基本設計」段階で検討を予定しております。</p> <p>また、既存の公園につきましても、削減・廃止を視野に入れた再編計画策定を検討しております。</p>
2	<p>事業費及び段階整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライン毎の費用感（概算事業費）がわからない ・全体費用がわかっていないのですが、整備が優先されるのは、今も人が集まっている金ヶ崎のエリアで、次に手筒山に登る人もいる天筒エリアかと思えます。舞崎エリアでは建物や公園の整備は不要と思えます。様子を見ての整備で良いのではないのでしょうか。 	<p>概算事業費については、今回の説明会やパブリックコメントが終了した段階で、最終の取りまとめを予定しております。</p> <p>また、優先される整備のエリアといった段階的整備の方針については、次の「基本設計」の段階にて、設計に落とし込みながら検討していきます。</p>
3	<p>安全性・環境衛生について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冬季間積雪時の対応について ・積雪時・荒天時のベンチ利用ができない点について検討してほしい ・今期のように大雪時除雪する業者の方も道が狭く、また排雪する置場がないため非常に苦労しているように見受けられました。雪をどかしかためる場所が元々少ないのに雑木林やベンチ等を設置して、積雪時どのように対応していくつもりなのか計画に盛り込んでいただきたい。 ・曙ラインから金ヶ崎ラインについて、あの辺一体は道幅も狭く（積雪時も含めて）、雑木林やベンチを作っても余計に車が通行しづらいのではないか。 	<p>【積雪時・荒天時の対応について】</p> <p>積雪・荒天時における全てのベンチ利用が可能となる対応は難しいと考えておりますが、各所にプラットフォームと呼ばれる屋根付きの休憩所を計画しております。</p> <p>本計画では、敷地に隣接する道路を減少するような計画は現在想定しておりませんので、雑木林やベンチを整備したとしても既存の道路幅はそのまま確保したままとなります。</p> <p>雪置場等については、あくまで利用されていない状態を臨時的に活用しているものと理解しておりますが、冬季間の公園利用も含めた対応について、次の「基本設計」の段階で関係部署も含め協議しながら進めてまいります。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・野生動物（猿、猪、鹿など）への対応について、この辺りの対策はどうするのか。 ・周辺民家に対する夜間時の騒音、ゴミ放棄、防犯面についての対策はどうするのか。 ・（周辺民家への配慮もしながら）夜間でも歩きやすいよう街灯を増やすなど対策をお願いしたい。 	<p>【野生動物の対応について】</p> <p>本敷地と並行する既存道路の取り扱いと同等として捉えており、特別に対策をするようなことは現在想定しておりません。</p> <p>【夜間利用について】</p> <p>夜間の歩きやすさについては、主動線に沿って必要十分な明るさを確保しつつ、周辺環境に配慮した照明計画を予定しております。</p> <p>また、特に周辺民家が近接する曙ラインと角鹿ラインの整備方針としては、滞留空間としてではなく、歩行空間としての意味合いを強く設定し、視線を遮りながら吸音する役割にもなる修景（植樹）を重点的に行い、周辺民家への騒音やプライバシーに配慮した計画としております。</p>
<p>4 鉄道遺産やモビリティの活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以前計画していた転車台を活用した SL の実現について ・プラットフォーム（PF4）鉄道のイメージ、撮影ポイントなどの観点から、「転車台」と「車庫」の一体配置はどうか。 ・レールの利活用における走らせない部分の線路については、実際に敦賀港線を走行した貨物列車の廃車体を展示しては。 ・「(2) 舞崎ライン」における「レールカート展示」について、歴史的に有意義なレールカートの展示に例えば『兼用型モーターカー』を検討しては。 ・線路の活用について DMV を検討しては。 ・何をしたいのか、全体像がわかりにくい。駅から港までの動線について、動くモノ（モビリティ＝レール上の乗り物）をはっきりした方がよい ・モビリティの内容はとても良い（誰でも安価で移動できるような乗り物があると良い）が、雨天でも乗ることが出 	<p>以前計画していた転車台の活用については、金ヶ崎の公園整備の中で、モニュメント・ファニチャー（動的ではない）展示を想定しており、今回の廃線敷の利活用については整備する予定はございません。レールを活用した展示については、舞崎ラインにおいて「レールカート展示」を検討しており、頂いたご意見を参考にしつつ、今後の整備の検討段階にて検討してまいります。</p> <p>また、モビリティの活用についても、頂いたご意見を参考にしつつ、今後実施予定の社会実験など、実際に現場での活用を試行する中で、社会的活用の有効性と経済性もあわせて確認しながら、検討していきたいと考えております。</p>

	<p>来て赤ちゃんでも年配の人でも乗れる、簡単なトロッコ列車や、スロッピー(鳴門にあるケーブルカーみたいなもの)も良いのでは(夏冬はエアコン必須)。</p>	
5	<p>植栽について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(角鹿ライン、曙ライン) この廃線に沿って整備される樹木については、「桜の木」(管理が大変であるならば、樹木の葉が緑色ではない高木)はどうか。 	<p>参考とさせていただきます。</p>
6	<p>動線計画・市内連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃線跡の整備と金ヶ崎公園整備と氣比神宮エリアの整備があって、観光客の流れをどのように誘導しようとしてしているのかわからない(特に神宮と金ヶ崎間) 	<p>利活用計画(P8・P22)で記載のとおり、1.7km全体を連続的に整備することで地域の生活を支える生活動線、観光資源として再編します。そして、中心市街地内の重点エリア(駅前ゾーン、市街地ゾーン、臨海ゾーン)に繋がる広場(くさまち広場、まちなか広場、うみまち広場)を設え、それらを既存動線と繋ぐことにより市街地全体へ波及する「8の字状」の循環する回遊動線の創出を目指しております。</p>
7	<p>カルバート利用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カルバート利用について、「ミホ・ミュージアム滋賀」のような「トンネル」、あるいは、敦賀市民、鉄道ファンの視点から鉄道遺産の「樫曲トンネル」を参考にしてはどうか 	<p>参考とさせていただきます。</p>

たくさんのご意見ありがとうございました。

なお、内容が重複しているものは統合しており、意見全文は別添資料に掲載しております。

また、計画と関連しない意見は掲載しておりませんので、ご了承ください。